

平成22年度事業報告書

1 慰 霊 事 業

(1) 第31回陸海軍特攻隊合同慰霊祭等

平成22年3月27日午前11時から靖國神社において合同慰霊祭を斉行した。来賓31名、遺族39名、会員等209名の参列者の総数279名であった。

慰霊祭終了後、靖國神社境内の靖國會館において協会の年次総会及び懇親会を開催した。この総会において、平成21年度事業実績及び収支決算を報告し参加者の了承を得た。

(2) 第59回特攻平和観音年次法要

平成22年9月23日世田谷山観音寺において、同寺と地元駒繫神社との神仏習合による年次法要が実施された。当協会としては、例年と同様特攻平和観音奉賛会としてこの年次法要に参加及び協力した。今年の年次法要への参加者は、朝からの雨にも拘わらず来賓28名、遺族29名、会員等214名の内訳で、例年より若干少ない程度の総数271名であった。

(3) 各地慰霊祭への参列等

ア 代表者派遣

(実施月日)	(慰霊祭等名)	(場 所)	(参列者)
4月 3日	鹿屋特攻隊	鹿 屋 市	小倉 評議員
4月 6日	都城特攻隊	都 城 市	藤田 理事長
4月 6日	予科練雄飛会	靖國神社	小倉 評議員
4月 7日	徳之島慰霊祭	大島郡伊仙町	藤田 理事長
4月11日	万世特攻隊	南さつま市	栗原 理 事
4月22日	春季例大祭	靖国神社	栗原 理 事
5月 3日	知覧特攻隊	知 覧 町	藤田 理事長
5月24日	春季慰霊祭	千鳥が淵墓苑	藤田 理事長
6月 5日	義烈空挺隊	沖 縄 県	藤田 理事長
7月 4日	慰 霊 協	靖國神社	深山 副会長
10月 3日	海 原 会	陸自土浦駐屯地	小倉 評議員
10月15日	串良基地出撃	鹿 屋 市	小倉 評議員
10月18日	秋季例大祭	靖國神社	藤田 理事長
10月18日	秋季慰霊祭	千鳥が淵墓苑	藤田 理事長
10月25日	神風特攻隊	マバラカット市	飯田 評議員 羽瀨事務局長
11月14日	回天顕彰会	周 南 市	藤田 理事長

イ 供花送達等

(実施月日)	(慰霊祭等名)	(場 所)
4月 7日	海上特攻第二艦隊追悼式	鹿児島県枕崎市

4月16日	出水市特攻碑慰霊祭	鹿児島県出水市
5月8日	黒島特攻平和祈念祭	鹿児島県三島村
10月8日	明野忠魂塔慰霊祭	三重県明野駐屯地
10月10日	原ノ町飛行場戦没者慰霊祭	福島県原ノ町
11月14日	若潮会慰霊祭	靖国神社
ウ 特攻勇士之像奉納除幕式		
(実施月日)	(奉納場所)	(参列者)
8月15日	栃木県護國神社	藤田 理事長

2 特攻勇士の像建立事業

本年度における特攻勇士の建立事業は、前記の栃木県護國神社への1ヶ所の建立に止まった。今回の建立で、世田谷山観音寺の建立分を含めて総計9体となっている。

現時点において、来年度の千葉県護國神社への建立が決定しているのみで以降の計画が定まっていない状況であるため、建立促進に関する具体的な方策を早期に策定し推進したい。

3 その他の事業

- (1) 広報事業として機関紙・会報「特攻」82号～85号を発行し、会員、協力団体及び希望者等に頒布した。また、ホームページ上で会報「特攻」の最新号が閲覧、出力可能となっている。また、情報公開の観点から、最新の事業計画及び財務資料等を公開した。
- (2) 出版事業では、引き続き以前に刊行し保有している「特攻隊全史」、CD「あゝ特攻」及びその他若干の刊行物の頒布を継続している。

4 会員の動向

会員及び旧軍関係者等の高齢化を迎えて今後とも急激な会員減少が予想される。当会の22年度における新規入会者は76名であり、死亡等による退会者が182名であるため、会員数は差し引き106名の減となり、22年度末における会員数は2,670名となった。

会勢拡充事業として、昨年引続き会員各自による入会促進努力及びホームページ等を活用した加入促進等を実施したが、効果的な成果が現れていないのが現状である。

5 公益法人移行認定

新公益法人制度の施行に伴い、施行後2年間かけて移行準備を行ってきたが、平成22年12月22日に内閣総理大臣の移行認定を受け、平成23年1月4日から名称も「公益財団法人特攻隊戦没者慰霊顕彰会」として新たに再出発することとなった。